

簡易型河川監視カメラの画像提供を開始しました ～管内四川で37基設置 河川監視カメラが1.3倍に増えます～

1. 概要

身近な河川の状況をリアリティをもって伝え、地域の方の避難に活用いただくため、「簡易型河川監視カメラ」を管内に37基設置し、4/1より画像提供を開始しました。

近年発生している各地の豪雨災害では、洪水の危険性が十分に伝わらず、適切な避難行動につながっていないことが課題でした。今回設置したカメラにより従来の水位情報だけでは伝わりにくい「切迫感」をより多くの河川画像を通して伝えることで、適切な避難行動を促進します。

2. 設置箇所

【鈴鹿川水系】	14基	
【雲出川水系】	10基	
【櫛田川水系】	9基	
【宮川水系】	4基	計37基



カメラ設置状況
宮川 左岸 6.4km-197.7m
(伊勢市小俣町地先)

3. 提供開始日 令和2年4月1日

4. 提供サイト

「川の水位情報」 <https://k.river.go.jp>



5. 資料

- 別紙1 簡易型河川監視カメラの概要
別紙2 簡易型河川監視カメラの設置位置図

6. 配布先 三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ 四日市市政記者クラブ、鈴鹿市政記者クラブ、 亀山市政記者室、津市政記者クラブ、松阪記者クラブ、 伊勢記者会

7. 問合せ先

国土交通省三重河川国道事務所
副所長 細野 貴司 (ほその たかし)
調査課長 岡本 祐司 (おかもと ゆうじ)
TEL 059-229-2211
FAX 059-229-2257



配信イメージ

- 電源・通信ケーブルの確保が不要で、屋外に容易に設置が可能なカメラ
- ズームや首振り機能を限定することでコストを削減
- インターネットを経由して収集し、5分間隔の静止画を「川の水位情報（<https://k.rever.go.jp/>）」で提供
- リアリティのある河川の状況を画像を伝えることで、住民の適格な避難行動を促進



<簡易型監視カメラの閲覧方法（川の水位情報より）>

川の水位情報 2020/03/25 10:18
危機管理型水位計

クリック

河川カメラ
(簡易型河川監視カメラ含む)

通常水位計

危機管理型水位計

メニュー

マニュアル

ご利用上の注意

表示切替

- 水位計
- 危機管理型水位計
- 河川監視カメラ(CCTV)
- 河川監視カメラ(簡易型)
- 河川ライン

地図切替

国土地理院淡色地図 選択

リンク

危機管理水位計ポータル

画面ではCCTVと簡易型カメラが同じ表示のため、メニューの表示切替で河川監視カメラ(簡易型)のみのチェックとすることで、簡易型河川監視カメラの設置位置が確認できます。

三重県四日市市

<川の水位情報>

- ・危機管理型水位計・通常水位計・河川カメラ(簡易型河川カメラも含む)が同一画面上に表示。
- ・氾濫するまでどの程度の余裕があるかリアルタイムに確認。
- ・河川カメラ(簡易型河川カメラ含む)により、河川の状況を画像にて確認



洪水時は事務所HP・Twitterでも防災情報を発信しています
HP:<https://www.cbr.mlit.go.jp/mie/>
Twitter:https://twitter.com/mlit_mie